

しずおか 県民児協だより

37

第37号
平成31年2月1日発行

[題字：静岡県民生委員児童委員協議会顧問 天野隆玄 書]

編集発行／静岡県民生委員児童委員協議会 〒420-8670 静岡市葵区駿府町1-70 静岡県社会福祉協議会内 ☎054-254-5224 ㊚054-251-7508

全国民生委員児童委員大会（沖縄大会）に参加して

静岡県民生委員児童委員協議会 理事 小池 富士夫



全国大会式典の様子

昨年は、民生委員制度創設100周年、児童委員制度創設70周年という節目の年を迎え、我々民生委員・児童委員は先人たちの思いを受け継ぎ、新たな1歩を踏み出した。こうした中、平成30年9月27日沖縄県宜野湾市沖繩コンベンションセンターに於いて3,000名余の参加者のもと、第87回全国民生委員児童委員大会が、沖縄県内の民生委員・児童委員の皆さんの温かい歓迎を受け開催された。

大会では、藏當博文沖縄県民児協会長の開会あいさつにはじまり、加藤厚生労働大臣・各界諸氏の激励挨拶のあと、特別講義として沖縄県出身沖繩劉衛流空手古武道龍鳳会会長である佐久本嗣男氏による「世界制覇への道

〜頂点へのこだわり〜」について貴重なお話をいただいた。その後、大会宣言が採択され、アトラクションとして沖縄の民族芸能であるエイサーなどが披露された。

大会2日目の活
動交流集会は大型
の台風20号が沖縄
に接近していたた
め中止となり、直
ちに帰宅準備の指
示があった。

しかし、天候と
は裏腹に我が藤枝
市葉梨地区民児協は晴れやかな思いであつた。

それは、全国民生委員児童委員連合会より
会長表彰をいただいたからである。

藤枝市葉梨地区民児協では、時代の変化に伴い、委員の活動が多様化していることを鑑み、定例会などにおいて、行政や地域包括支援センターなどの職員を講師に招き、各種制度や取組に対する理解を深め、委員として必要な知識習得に努めている。また、地区内の福祉施設など関係機関を訪問し、連携を強化するとともに、青少年健全育成を目的とした児童と語る会や小学生の登下校時の見守りなど児童委員としての活動の充実も図っている。

こうした地域に根ざした活動が評価されたことは、この上ない喜びであり、これからも地域に寄りそった活動を継続したいと感じている。



創作芸団レキオスによるアトラクション

平成30年度（第87回）全国民生委員児童委員大会

平成30年9月27日、沖縄コンベンションセンター（沖縄県宜野湾市）において、平成30年度（第87回）全国民生委員児童委員大会が開催されました。

次のとおり「大会宣言」が採択されましたので、御報告いたします。

大会宣言

私たちの先達は100年以上の永きにわたり、地域に寄り添いながら、地域のよき隣人として活動を重ねてまいりました。

しかしその一方で、今日、わが国は急速に進行する少子高齢化や、ひとり暮らし世帯の増加、家族意識の変容などがすすみ、地域社会では人びとのつながりが希薄化しており、地域住民は、孤立や孤独、介護や子育て等への不安など、多様な課題を抱えています。児童や高齢者、障がい者への虐待、社会的孤立を背景とし



参加者のみなさん

た課題や悪質商法被害なども社会問題化しており、本年7月の豪雨災害や今月の北海道胆振東部地震など、水害や地震等の自然災害も各地で相次いでいます。また、犯罪被害や虐待により未来ある子どもたちが命を落とすような事件が後を絶たないことは、私たちの大きな悲しみでもあります。

このような状況のなか、人びとの生活の安全・安心をいかに守っていくのか、安全で安心な地域をどう創っていくのかが問われています。国では、さまざまな課題を抱える人を地域で支えるために、地域住民が支えあい、助けあう共生社会づくりをすすめるべく、生活困窮者自立支援法や社会福祉法の改正などが行なわれています。

本年は民生委員法制定70周年であるとともに、民生委員制度創設から101年めとして、あらたな100年に向けて歩みだす大切な年であります。私たち、全国23万人余の民生委員・児童委員は、これからも、常に地域住民の立場に立ち、相談・支援活動を展開し、誰もが安心して暮らすことのできる地域づくりをすすめていくため、本日、ここ沖縄県において第87回全国民生委員児童委員大会を開催するにあたり、次のとおり宣言します。

- 一、支援を必要とするすべての人びとが孤立することのないよう、日々の見守りや相談活動を重ねるとともに、地域の幅広い関係者と連携し、住民主体による地域共生社会づくりに取り組みます
- 一、わが国の未来を担う子どもたちが健やかに育つことのできるよう、地域の子どもの育ちを守り、子育てを応援する地域づくりに取り組みます
- 一、東日本大震災や熊本地震、平成30年7月豪雨災害などの被災地の人びとや、そこで活動する民生委員・児童委員への支援を引き続き行なうとともに、災害に備えた地域づくりに取り組みます
- 一、基本的人権についての理解を深めるとともに、地域において人権啓発に関する活動に積極的に協力し、人権を尊重した地域づくりに取り組みます
- 一、広く社会に対し民生委員・児童委員制度の周知に取り組み、その一層の充実・発展に向けて取り組みます

平成30年9月27日

第87回全国民生委員児童委員大会

平成30年度静岡県民生委員児童委員協議会役員と県との意見交換会について

平成30年11月1日（木）静岡県総合社会福祉会館シズウエルにおいて、県民児協役員と静岡県との意見交換会を実施しました。

静岡県民生委員児童委員協議会 出席者			
会 長	松 下 悦 郎	常任理事	高 橋 敏 行
副 会 長	杉 本 正	常任理事	袴 田 豊 昭
副 会 長	桐 澤 勇	常任理事	井 川 あ い 子
副 会 長	望 月 衛	常任理事	山 村 勝 明

<平成31年度一斉改選に向けて>

静岡県では定数改定を含む規則の改正に向けて、平成30年8月までに各市町の要望・意見をまとめた。改正の手続きは平成31年2月～3月に行い、12月から施行する。新定数については、平成31年1月～3月には各市町へ内示する予定であり、人選調整を始めていく。平成31年8月以降、市町からの推薦名簿を審査した後、県は国に対して推薦名簿を提出していく予定。

<平成31年度民生委員研修について>

平成28年度と同様に、一斉改選前と一斉改選後に研修を実施する。改選後の研修は、新任役員研修、新任委員研修を行い、新任委員研修は県内各地で18回実施する予定。

[県民児協役員から]

○全国モニター調査の結果では、委員活動を継続して行うために「活動の範囲や役割の明確化」が第1位として挙げられている。このような意見を踏まえた研修内容を希望する。

<随時委嘱委員へのオリエンテーションについて>

平成29年度県民児協役員と県との意見交換会で要望のあった「随時委嘱委員へのオリエンテーションマニュアル」を平成30年3月に県において作成した。このマニュアルを利用し、随時委嘱委員へのオリエンテーションを実施しているのは18市町。改めて各市町へマニュアルを送付するので活用していただきたい。

[県民児協役員から]

○マニュアルを新任委員へ手渡すだけでなく、説明していくことが必要。良いマニュアルなので、利用していきたい。

<民生委員・児童委員活動の充実について>

民生委員・児童委員の負担軽減や、新たな担い手確保につなげるため、民生委員を補佐する制度について検討していく。ただし補佐する人と民生委員・児童委員との業務の振り分け、個人情報の取扱い等、検討すべき点は多々ある。そのため、モデル地区を設け試験的に導入するとともに、関係者と制度内容を検討し、平成31年の改選までに方向付けしたいと考えている。

[県民児協役員から]

○新たな制度を作るのではなく、民生委員・児童委員の職務について、改めて確認すべき。本来の業務を実施していれば、それほど負担感はないのでは。

○淡路市や東北地方では、民生委員を補完する制度が充実している。次期委員を育てるためにも良い制度となることを期待する。

○まずはモデル地域で実施するのは良いと思う。よく検証してもらいたい。



100周年記念プレート除幕式の様子

協では「セ
ルフネグレ
クト」をテ
ーマにした
記念講演会
と紙ベース
の時代から
の調査の結
果出揃った
309名の委員
のお名前を
刻んだ記念
プレートを
制作しまし
た。この記
念プレート
は清水町福
祉センター
入口に建て
てあります
ので、機会

100周年の記念すべき年でした。
昨年度は民生委員制度創設

各民児協で様々な記念行事が行
われる中、私ども清水町民児

清水町 民生委員児童委員協議会の紹介



地域親子ふれあいランドの様子

がありましたらご覧いただけ
ば幸いです。
清水町民児協は現在64名の委
員で協議会事業と、高齢者福祉
部会、地域福祉部会、障がい者

福祉部会、児童福祉部会の4部
会で構成された部会活動を関連
する団体と連携を図りながら実
施しております。
協議会事業の重点目標は、

◆ 児童委員としての活動の強化
◆ 委員一人ひとりの積極的な活動

◆ 他の民児協との交流の推進
◆ 防災への取り組みへの強化の4つを掲げて活動しています。

児童委員としての活動の強化にあたっては、学校関係者の協力のもと学校給食試食事業や各小中学校でのあいさつ運動に取り組み、児童生徒とふれあいの時間を持つことができました。

また、毎月1回の柿田川作業所で利用者の方々と一緒に行う作業ボランティアや、各地区公民館で開催される就学前幼児対象の子育てサロン、65歳以上の方が集ういきいきサロンのお手伝いなども行っています。

近隣民児協との交流研修会では、他町の委員と意見交換や活動報告を行っています。参加した他町の委員との距離がぐっと縮み、その後、研修会等でお会いした時などは親しみを感じます。

防災への取り組みの強化につ



柿田川作業所でのカレーづくりの様子

部会はシニアクラブのスポーツ大会や新春演芸大会への協力を、地域福祉部会は毎月第4木曜日に柿田川作業所の利用者の方々とふれあい昼食づくり（メニューはカレー）を、児童福祉部会はひとり親会への支援を、障がい者福祉部会は柿田川作業所のレクリエーションや手をつなぐ育成会クリスマス会への参加協力等を主に活動しています。

毎年5月の民生委員活動強化週間では地域の方に民生委員児童委員の活動を知っていただくとうと、講演会を行っています。来年度の活動強化週間に向けて現在、企画を検討中です。

これからも64名の委員が一同に会する定例会や各部会を基盤に、充実した民生委員児童委員活動を行っていききたいものです。

いては、長年にわたり災害時における民生委員の位置付けが問われている中、防災委員会を立ち上げ、来年度の完成を目指し指針を作成しています。先日、定例会の後に避難所運営ゲーム（HUG）講習を実施しました。このゲームでは、様々な家族形態がある中での避難所生活の課題の多さを改めて実感しました。

部会活動では、高齢者福祉



函南町との研修交流会の様子

ひろば

民生委員として思うこと

三島市
民生委員児童委員協議会

湯山 藤枝

三島市の民生委員は8地区に分かれて、それぞれの地域の問題解決に取り組んでいます。

毎春、避難行動要支援者名簿作成の為、担当する80歳以上の高齢者・障がい者の方々に訪問調査しています。

私の地区の民生委員から、今年4月から9月までの半年間に3名の方々の孤独死が発見されたと報告がありました。名簿には載っていない60歳から70歳前半の持ち家に住む男女でした。私は5期目の民生委員ですが、初めての事件で大変ショックを受けました。

個人情報開示の非開示、プライバシー問題等。「隣は何をする人ぞ」的なお互い干渉し合わない「見て見ぬふり」をする人達が多くなっているのでしょうか。「遠くの親戚より近くの他人」、特に独居生活をしている方々は地域全体で気を配り合うことが必要ではないでしょうか。情報を得た民生委員は、速やかに相談相手となり関係機関へ繋げる仕事があります。

定年を迎える私は、地域住民の方々の良き相談相手であったかと反省することが多々あります。

出会いに感謝感謝

富士宮市
民生委員児童委員協議会

瀬谷 伸夫

気楽に承諾した民生委員児童委員でした。どのくらい続けるか、続けられるか。二年間自分の委員活動を観察し適否を見極めることにした。自分の適否観察とが入り混じったスタートであった。

二年間の委員活動で、何とか平均的な点数かなと判定し、続けることにした。

経験を重ねるにつれ、不安や悩みを聞く機会が増え、落ち込む事例もあった。生活困窮者支援に奔走したが、後になって演技であることがわかった。善意が報われず落ち込む自分。善意が伝わらず重い足取りの自分。落ち込む自分に、何故続けるのか、自問自答した。

高齢者との何気ない会話に、ほっこりとした時間を過ごした。こんな委員活動が心の支えで、落ち込みを解消し、もう少し続けられそうな気持ちになったのかな。

委員仲間との何気ない会話から仲間意識や絆を実感した。もう少し続けられそうな気持ちになったのかな。

委員活動と自分の生活が軌道に乗ったと実感し、もう少し続けられそうな気持ちになったのかな。

多くの委員仲間・地区住民に出会ったおかげで、自分が変わった。自分を変えてくれた皆さんに、感謝感謝です。

民生委員児童委員の思い

小山町
民生委員児童委員協議会

橋田 輝子

私は、2期目の委員です。前任者が途中退任したため、1期目は地図を見ながら担当地区の皆さんを訪問し、顔を覚えるのが一杯でした。2期目となり、やっと担当地区の皆さんと色々なことが話せるようになり、悩み事等を相談されるようになりました。時間をかけて「人と人のつながり」ができたのだと思います。

昨年の民生委員制度創設100周年の記念大会で小山町は「平成22年の豪雨災害と平成26年の豪雪災害について」発表しました。それをきっかけに、滋賀県、香川県の民生委員児童委員協議会（以下、民児協）の皆様が小山町に視察研修にみえられました。両県の活動や災害マニユアルの有無など小山町と情報交換を行い、有意義な交流ができました。

近年、日本各地で地震や台風による川の氾濫、土砂災害等が本当に多く発生しています。私の担当地区は、平成22年の豪雨災害時に土砂災害が発生した地区のため、台風のたびに避難勧告が発令されます。また、一人暮らしの高齢者が点在して住んでおり、避難勧告が発令されると、私は、まず電話をかけた避難を促し、その後、防災センターに行き避難の状況を確認しています。最初の頃は、避難者が1人位でしたが、先日の台風の際は、5人の方が防災センターに避難されました。

各県、各地区の民児協のあり方は少し違いますが、地域の課題を抱える方々への「支援を第一に」と思っている精神は皆同じだと思えます。過去の事例を通して「私達が今何をすべきか」と考えながら、これからも民生委員児童委員として活動していきたいと思えます。

ひろば

地域活動について



藤枝市
民生委員児童委員協議会

西澤 義人

藤枝市は、静岡県の中部に位置し、人口145,000人余り、市内は蓮華寺池公園や瀬戸川沿いの桜並木など美しい自然に恵まれており、サッカーの町としても有名で、Jリーグにも藤枝ゆかりのプロサッカー選手を多数輩出しています。

高洲第一地区民児協は藤枝駅に近く、人口14,000人余り、高齢化率約24・9%となっておりですが、近隣の市町から若い世帯の移住者が増え子供たちの弾む声が聞こえます。

民児協の定数は20名で、地区担当委員18名、主任児童委員2名で組織されています。

定例会は毎月実施し、企画の検討や研修会の実施、具体的な事例発表を行うなど重要な役割を占めています。

また、地域の福祉活動として、一人暮らしの高齢者との昼食会、地域包括支援センターとの交流会、高洲ネットワーク会議（ケアマネジャーとの交流会）、高齢者施設の行事に参加するなど福祉活動の推進に努力しています。

その他、高洲地区の小中学校3校（小学校2、中学校1）との年2回の連絡会では、積極的に情報交換を行うなど連携を深めています。

今後も、地域との連携を深めていき、要支援者に寄り添い、関係機関との橋渡し役として努力していきたいと思えます。

私は何を



御前崎市
民生委員児童委員協議会

八木 文子

夫の定年退職を機に、十年程前に姑の待つ家に入りました。それから程なくして民生委員に、という話がありました。担当する地区は百三十戸程度ですが、地域のことをほとんど知らずに仕事が始まるのかと思ひ躊躇しましたが、逆に「地元を受け入れてもらうチャンスかもしれない」と考えて引き受けることにしました。

私の住む地区は、いまだに「家」「家族」「親戚」という意識や形がしっかり残っています。その上、対象となるお年寄りや障害者も極めて少ないのです。だから、町内会としては、私のような新参者にもできると考え、話を持ってきたのかもしれませんが。

このような地区での活動はどうあるべきかと考えてみるのですが、「必要とされ、頼ってこれたら誠意をもって相談に乗り、そして関係部署につなぐ」ということに尽きるように思われます。

担当地区に課題はそれほど多くはありませんが、様々な研修や会議、充て職としての会への出席も多くて、忙しい日々を送っています。定例会で唱和する「民生委員児童委員信条」や「児童憲章」の趣旨を心にしかと留めて、戒めの指針とし、私なりの活動をしていきたいと思っています。

定例会の運営について



掛川市
民生委員児童委員協議会

加藤 嘉平

平成三十一年の民生児童委員の一斉改選が近づいてきました。最近の改選毎に痛感しますが、新任委員の増加が著しく、定例会での一期目委員からの相談件数は大変多くなっています。活動に不安や悩みを持つ委員の支援対策として地区民児協では、「地域の問題は地域の全委員で解決する」を基本に同地域の同僚と話し合う場を設けました。地区民児協の担当する地域は「山間地、田園地、海岸地」と其々に地域特性がある為、二期目以上の委員をリーダーに六行政区域別に六〜八名でグループ化し、悩み等を出し合い、討議する事で解決の糸口としました。

月毎の定例会終了後にグループ別円卓討議を開催し、終了したグループ毎に自由解散としました。又、定例会資料は出来る限り詳細に作成し、短時間で終了できる様にして、グループ討議の時間を確保する事としました。定例会の場では発言の少なかつた委員もグループ討議では、積極的に発言する様になり、地区民児協としての体制づくりが大変効果があったと確信しました。

定例会は聞くだけの場ではなく「現在実行している委員の事例発表」も含め委員の発言の場として、今後も重要な位置付けで運営に努めたいと思えます。

平成30年度
叙勲・大会等表彰者の紹介
(敬称略)

厚生労働大臣表彰

鈴木 順子 (伊東市)

勝俣 一代 (沼津市)

桐澤 勇 (沼津市)

小出嘉代子 (富士市)

松本 玲子 (富士市)

静岡県知事表彰

石井由美子 (熱海市)

松川 昭宏 (三島市)

川口志津代 (三島市)

大木 和美 (沼津市)

田中 治代 (富士宮市)



全国社会福祉協議会長表彰

民生委員児童委員功労

島村 榮 (伊豆市)

佐野 明榮 (熱海市)

竹口 米作 (沼津市)
杉山 柁行 (沼津市)
釜田 和子 (焼津市)
牧野 英恵 (牧之原市)
吉沢かね子 (南伊豆町)

全国民生委員児童委員
連合会会長表彰

優良民生委員児童委員協議会

藤枝市葉梨地区

民生委員児童委員協議会

民生委員・児童委員功労者表彰

佐野 明榮 (熱海市)



編集後記

台風襲来の為、全国大会2日目
中止となり早朝に機上人となる。窓
より外を見れば眼下に広がる沖縄が
飛び込んできた。2歳の時に終戦と
なり、意味の分からない言葉が脳裏
に浮かぶも、時間だけが過ぎ、気づ
けば名古屋空港であった。

民生委員となり早や20年、何を覚
えてきたのだろうか。時代の変革と
共に福祉も改革していかなければな
らない。私たち民生委員は受け持つ
地域の人たちに「喜びと、笑顔を取
り戻し元気にする」それには民生委
員としての包容力を身に付けて、常
にこちら側が何に対しても話しを聞
くことができる力を得るために勉強
していかなければならないと思う。
この力は自分の為にもなる。世の中
の事は知らないことのほうが多い
が、先輩方の言葉を借りるならば「人
の為に生きる事によって自分も幸
せになれる」これぞ民生委員冥利で
はないか。

(袴田)